

平成21年2月宮崎県定例県議会

食の確保・食の安全対策特別委員会会議録

平成21年3月16日

場 所 第4委員会室

平成21年3月16日（月曜日）

午前10時0分開会

会議に付した案件

○協議事項

1. 委員会報告書について
 2. 委員長報告（案）について
 3. その他
-

出席委員（12人）

委員 長	横 田 照 夫
副 委 員 長	田 口 雄 二
委 員	外 山 三 博
委 員	水 間 篤 典
委 員	中 野 一 則
委 員	十 屋 幸 平
委 員	河 野 安 幸
委 員	山 下 博 三
委 員	満 行 潤 一
委 員	外 山 良 治
委 員	武 井 俊 輔
委 員	前屋敷 恵 美

欠席委員（なし）

委員外議員（なし）

事務局職員出席者

政策調査課主幹 (特別委員会・広報担当)	河 野 龍 彦
政策調査課副主幹	福 島 久 大

○横田委員長 皆さん、おはようございます。

それでは、ただ今から食の確保・食の安全対策特別委員会を開会いたします。

まず、本日の委員会の日程についてでありま

す。

お手元に配付の日程（案）のとおり、取り進めたいと存じますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

では、そのような形で進めさせていただきます。

それでは、委員協議に入ります。

委員会報告書につきましては、既に、皆様のご了解をいただいているところでありますが、あさって、3月18日の定例会最終日に、議場にて、4つの特別委員会報告書を合冊して配付させていただきますので、ご了承いただきたいと思います。

次に、同じくあさって、定例会最終日の本会議で行います委員長報告案についてであります。お手元に配付の委員長報告案をご覧ください。

報告書には、県に対する提言を9つ書いておりましたが、これらの提言を議場で申し上げることで、委員長報告としたいと思っております。

ただし、時間の制約がありますことから、3つの調査事項からそれぞれ1つずつ、食の安全・安心であれば、食品表示の一元化など消費者にわかりやすい情報提供をすべきであること、農地の有効利用であれば、農地の権利取得の下限面積要件の緩和など農業への垣根を低くすること、地産地消・食育であれば、県のカロリーベースの食料自給率の目標値を設定すること、以上、3つに関して、少し詳しく述べるという形にしたいと思っております。

皆様方、この場でそれぞれで御覧いただきまして、御意見がございましたら、お願いいたします。少し、時間をとらせていただきます。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御意見もないようですので、この案で報告したいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○横田委員長 では、そのように決定いたします。

次に、その他で、何かございませんか。

なければ、本日の委員会は、これで終了したいと思いますのですが、最後の委員会となりますので、一言、御挨拶を申し上げます。

私、この1年間、この委員会の委員長をやらせていただきましたが、すばらしい委員の皆様方とすばらしい書記の2名に恵まれまして、何とか委員長の職責を全うすることができました。心から感謝申し上げます。

この1年だけでも、事故米の事件の発生とか、世界中での穀物の高騰など、食の安全対策に対する取組の重要性や食料自給率を上げることの大事さを改めて認識させられたわけですが、そういった意味で非常にタイムリーな委員会ではなかったかと思います。この1年間この委員会が取り組んできましたことが、県とか県民に対しての大きな提言となって、食の確保・安全対策に対する意識づけができて、それが実行に移されることを心から願いたいと思っています。

この1年間、本当にありがとうございました。

続きまして、田口副委員長からも、一言お願いいたします。

○田口副委員長 皆さん、今年1年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。

特に、横田委員長とは、昨年の常任委員会でも委員長、副委員長という、2年続けてこういう形になりまして、横田委員長のサポートになったかどうかはわかりませんが、この1年

間、大変勉強させていただきました。本当にありがとうございました。

立派な報告書ができましたから、これは単なる報告に終わらずに、今後私どもの活動の中でこれがしっかりと実現されるように、切磋琢磨して頑張っていきたいと思っていますので、どうかよろしく願いいたします。

今年1年間、本当にありがとうございました。

○横田委員長 それでは、以上で、委員会を閉会します。

委員の皆様方、1年間、ご苦勞様でございました。

午前10時6分閉会